

九州本部みどり部会、農業部会・森林部会、水産部会合同意見交換会（概要）

- 日時：2025年10月25日（土）14時～16時45分
- 場所：熊本城ホール 3階 B-1会議室

○ 概要

1. 初めての開催であったが、農業部会、森林部会、水産部会、九州地域本部みどり部会、中国地域本部農林水産部会の他、全国から35名の参加があった。なお来賓の進藤参議院議員は会議の冒頭より最後まで参加された。（九州・沖縄農業土木技術士会はオブザーバーとして参加）
2. 会議では各部会、地域本部から次の報告があった。
 - （1）統括本部（農業・水産）の講演会のweb配信を活用し、CPD参加者を増加させている事例（中国）
 - （2）統括本部の講演会を各県支部にも配信し、県支部の活動に活用している事例（中国・農業）
 - （3）同一の講演会で農業・森林・水産の3つのテーマを取り上げ開催した事例（中国）
 - （4）現地見学会や講演会に大学生の参加を呼び掛けている事例（九州）
 - （5）大学生に1次試験の受験を勧め、合格させている事例（九州・宮城県）
 - （6）地域本部や県支部が講演会をweb配信し、全国からも参加している事例（中国・長崎県・徳島県）
 - （7）県支部同志が合同で講演会を開催し、長崎大学の先生の講演会を開催している事例（佐賀県）
 - （8）災害対応で、土業連携を進めている事例（九州）
 - （9）地方農政局に講演を依頼している事例（九州・沖縄）
 - （10）他部会との連携を行っている事例
（農業：生物工学部会、森林：応用理学部会、水産：生物工学部会）
 - （11）行政（林野庁、水産庁、環境省）と定期的な意見交換会を行い、資格活用を要望している事例（森林・水産）
3. 今後の活動について、
 - （1）部会、地域本部、県支部の情報共有が重要（特にCPD活動）である。特にCPD活動は行事申込一覧だけではタイムリーに検索できないので、積極的な共有ができないか
 - （2）IPD、1次試験、JABEEも考慮し、統括本部のみならず、地域本部と大学との連携を進めてはどうか
 - （3）大学の学部の再編成も視野に入れ、学際的な交流をしてはどうか

(4) 技術士とアカデミアとの融合を進めてはどうか
といった提案があった。

4. なお、

(1) 次回の全国大会（北陸・石川）では北陸本部には部会が設置されていないので、昨年と同様に、ウェルカムパーティーや交流会で交流してはどうか

(2) 農業・森林・水産の合同の部会が設置されている地域本部で全国大会が開催される場合には、今回と同様の会議を開催してはどうか
との意見があった。

○ 資料

- (1) 農業部会活動状況紹介
- (2) 森林部会について
- (3) 水産部会活動内容
- (4) 日本技術士会九州本部みどり部会の活動について
- (5) 日本技術士会中国本部農業/森林/水産部会
- (6) 九州・沖縄農業土木技術士会の活動
- (7) 地域本部における「地域部会」設置状況
- (8) 農業部会での地域本部等との連携の取組の経緯
- (9) 「部会間・地域組織連携促進メニュー」の配布について

以 上